

## 楽しかったよ冬遊び

～冬休みスペシャルウィーク  
『冬んゆんコーザンまつり』～

1月12日(土)から14日(月)までの3日間、ふおれすと鉱山で、冬休みスペシャルウィーク『冬んゆんコーザンまつり』(NPO法人モモンガくらぶ主催)が開かれ、冬休み最後の休日と好天にも恵まれ、525人が冬のイベントを楽しみました。

屋外では、冬の遊びの代名詞とも言えるソリ滑りが大人気。親子で一緒に乗ったり、ジャンプ台に挑戦したり、ソリを連結したりしながら、何度も楽しんでいました。

つるつるの広場(リンク)で行われた長靴ホッケーでは、パック代わりにボールを打ったり、追い駆けたりするたびに転倒。ゲームを終えてヘルメットを脱ぐとみんなの頭から湯気が上がっていました。

そのほか、屋外では氷の楽器作りや雪合戦など冬ならではの遊びを満喫していたほか、屋内ではMy箸や木づち作りなどが行われました。



## 思いどおりのシュプールを描きたい ～スキー教室『正月3日間教室』～



1月2日(水)から4日(金)までカルルス温泉サンライバスキー場で、正月3日間のスキー教室(登別スキー連盟主催)が行われました。

サンライバスキー場は、12月15日(土)に第3リフトのみの運行でオープン。その後18日に第1リフト、1月2日からは第2リフトが運行され、積雪も70センチを超えゲレンデコンディションは良好となっています。

この日のスキー教室には、小学生から大人までの28人が参加。スキー技術のレベルごとの4クラスに分かれて受講しました。参加した小学生は、「とにかく上手になりたい」と真剣に取り組んでいました。

同スキー連盟は、ほかにも毎日のスキー教室や『土曜pm教室』、『サンデースキー教室』、また、カルルス温泉冬まつりでは無料のスキー・スノーボード講習会を行っています。

## えんま 閻魔大王、今年も一年ありがとう

～閻魔大王すず払い～

12月14日(金)、登別温泉町にある『閻魔大王』のすず払い(極楽通り商店街振興組合主催)が行われました。

高さ8尺幅4尺にも及ぶ閻魔大王は、登別地獄まつりの『閻魔大王からくり山車』として毎年登場し、まつりに訪れた善人には慈非の顔で天国、悪人には憤怒の顔で地獄への審判をくだすメインイベントの一つになっています。

この日は、同振興組合の10人が参加して、ササの葉で作った特製のほうきやぞうきんを使い、1年間の感謝を込めてきれいにしていました。

閻魔大王は、日に数回顔の表情を変え観光客を楽しませているほか、記念撮影の名所にもなっています。

